

(お知らせ)

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

沖縄県における新型コロナウイルス感染症に係る災害派遣について

令和4年1月11日
防衛省・統合幕僚監部

概要

○ 沖縄県における新型コロナウイルスの急激な感染拡大に伴い、医療体制がひっ迫。沖縄県は、厚生労働省等に看護師等の派遣を要請しているが、県内全域の感染拡大の状況及び県内の医療従事者の感染者急増により、国等から看護師等が派遣されるまでの間、**看護師等が不足する状況**。

要

○ 1月11日(火)1013、陸上自衛隊第15旅団長(那覇駐屯地)は、**沖縄県知事から医療支援に係る災害派遣要請を受理**。

活動内容

○ **陸上自衛隊第8後方支援連隊、西部方面衛生隊及び自衛隊熊本病院の要員からなる医療支援チーム**が、**県立北部病院及び県立中部病院においてレッドゾーンでの看護業務を含む医療支援や、介助業務、健康管理を実施**。

活動規模：合計10名(看護官3名、准看護師7名)

〔**県立北部病院：看護官1名、准看護師4名**〕
〔**県立中部病院：看護官2名、准看護師3名**〕

活動期間：1月11日(火)から1月17日(月)

○ 活動にあたっては、これまでの活動実績を踏まえた感染防護策を徹底。

位置関係図



活動イメージ

【参考】沖縄県の入院待機ステーション※における新型コロナウイルスに係る災害派遣活動(令和3年8月12日～同年9月5日)(※) 自宅療養者等の入院調整に時間を要する事態が想定されることから、入院調整が整うまでの間、患者が一時的に待機する施設



点滴準備



バイタルチェック



回診